

はにわ通信

No.308 令和2(2020)年11月号

この地方の人たちは、工夫して台付甕を考え出したんでしょうね。

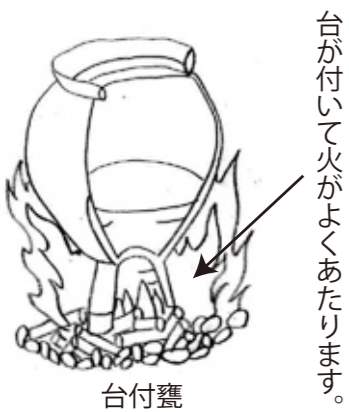


【台付甕を知っていますか?】

食料を煮る歴史は1万年以上も前の縄文時代から始まります。縄文時代には「深鉢」が、弥生時代になると、「甕」と呼ばれる土器が煮炊きに使われていました。

弥生時代後期(約1900年前)から使用された土器に、台の付いた甕があります。台付甕と呼ばれ、伊勢湾周辺で使われていました。台と甕が一緒になって、一つの土器として作られたものです。台を付けることで、底の部分も熱せられ水の対流が底から起こり、今までよりも早く温めることが出来るようになりました。その分、薪が少なく済み、調理時間も短くなりました。

このような土器を考え出した、当時の伊勢湾周辺で暮らしていた人たちの知恵や工夫には感心させられます。



台が付いて火がよくあたります。

台付甕の一つにS字状口縁台付甕という煮炊き具があり、次のような特徴があります。

- ①口の部分を横から見るとSの字に曲がっている。(右写真A)
- ②土器の厚さが非常に薄く、全体に熱が伝わりやすい。
- ③かまぼこ板のような薄板を使い、ある一定の規則性をもって撫でて土器の表面を整えている。

※薄板の短い面で撫でると、木目の凸凹によって数本の平行線が土器の表面に刻まれます。まるで、刷毛で撫でたような感じです。(右写真B)

右の写真は赤部遺跡(嬉野新屋庄町 豊田小学校区)から出土した古墳時代前期のS字状口縁台付甕です。実際に持ってみると、とても軽いです。表面には黒い煤の痕が残っており、煮炊きに使用していたことが分かります。また、表面をきれいにするために撫でた線の痕が残っているからでしょうか。触ると少しざらざらします。

赤部遺跡以外にも、松阪市の遺跡から台付甕はたくさん出土しています。伊勢湾周辺の人たちが、こういった煮炊きに適した道具を考え、古墳時代後期(約1500年前)までの長年にわたって使用し続けたことは素晴らしいですね。(担当)



S字状口縁台付甕(赤部遺跡)

【11月 霜月】

鈴の森公園の木々も色づき、落ち葉が風に舞う季節となりました。10月24日から、はにわ館特別展「離合山水図に魅せられて」が始まり、ギャラリーでの展覧会も予定され、文化財センターには芸術の秋を楽しみに来ていただく人が増えています。



今月は、江戸時代中期から後期にかけて多くの文化人が松坂に集まってくるきっかけをつくった一人、韓天寿について紹介をします。韓天寿は京都の青木家で生まれ、名を天寿(たかがず)といました。15歳で親戚だった松坂の両替商を営む中川家の養子となり、33歳で五代中川精三郎を継ぎました。店が岡寺山継松寺の隣にあり松坂で生活していた韓天寿が、伊孚九の「離合山水図」を長谷川家が所有することにも関わっていたようです。韓天寿は、書家として有名で日本における墨帖制作の第一人者であったとされています。池大雅とは京都にいた頃からの友人で、大雅がよく韓天寿を訪ねて松坂に来ていたといわれています。

この展覧会では、伊孚九を倣って描いた「倣伊孚九山水図」と「蘭石図並賛」の二点の作品と、伊孚九と池大雅の作品を縮摸し、学ぶための本にした「伊孚九・池大雅山水画譜」が展示されています。この画譜が江戸後期の画人に伊孚九の名を広め、教科書として影響を与えたといわれています。

現在も岡寺山継松寺には、韓天寿の書画とともに、岡寺版集帖板木が残されており、県指定有形文化財になっています。また、境内には韓天寿の銘が銅製香炉(市指定有形文化財)に残っています。

この秋、「離合山水図」に誘われて、文化財センターには是非お越しください。

墨帖・集帖板木: 書の手本となる筆跡を木に刻して拓本にし、本に仕立てたものとその板木(所長)



「伊孚九・池大雅山水画譜」

文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

11月の休館日は、2日(月)、4日(水)、9日(月)、16日(月)、24日(火)、30日(月)
12月・年末年始の休館日は、7日(月)、14日(月)、21日(月)、12/28~1/4です。
開館時間は9:00~17:00です。



文化財センター情報は
こちら

【はにわ館】入館料 200円 (特別展開催期間中、18歳以下無料) *入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■特別展「離合山水図に魅せられて~松坂に集った画家たち 池大雅・青木夙夜・韓天寿~」12/6まで

【ギャラリー】入場無料

第3G ■第9回四五百の森の拓本会とその仲間達展 11/13(金)~11/15(日)9:00~16:00

第2G ■小林孝章写真展~四季との出会い~「光と影」11/18(水)~11/23(月・祝)9:30~17:00 ※最終日は15:00まで

第1G ■「伊勢和紙に映す二人の世界」近藤健二・林隆久写真展 11/18(水)~11/22(日)9:00~17:00 ※最終日は15:00まで

第1G ■第98回松阪銀鈴会写真展 11/23(月・祝)~11/29(日)10:00~17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第3G ■第20回Sかるご展(20周年記念) 11/23(月・祝)~11/29(日)9:00~17:00 ※初日は13:00から、最終日は15:00まで

第2G ■花岡公民館 伊勢型紙展 11/25(水)~11/29(日)9:00~17:00 ※初日は13:00から、最終日は15:00まで

【講演会・ワークショップ】 予約をされた方のみ参加できます

松阪図書館 ★講演会 11/7(土)13:30~15:00 ※定員30名 参加費無料

演題 伊孚九「離合山水図」と新たな絵画の胎動 講師:山口泰弘さん(三重大学教育学部教授)

第3G ★ワークショップ「きみも墨絵にチャレンジ」

11/8(日) ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~ ※各回10名 参加費300円/枚